

第15回 CeMI北海道 会員研修セミナーが 開催されました!

CeMI北海道では、2カ月に1度、環境や防災に関わる様々な課題について会員同士が共有し、その解決に向けた検討を行っていくため、『会員研修セミナー』が開催されています。

第15回目は、大浦宏照氏(HRS株式会社 執行役員/CeMI北海道賛助会員)に、技術者として携わっている土砂災害調査・対策と、住民の防災活動等への積極的な参加を題材に『私の仕事=災害の調査と技術者のアウトリーチ』と題して話題提供いただきました。

日 時：平成25年4月12日(金) 18:00~20:00
場 所：かでの2.7 9階 920研修室
話題提供者：大浦 宏照 氏(HRS株式会社 執行役員・CeMI北海道賛助会員)
参 加 者：16名
題 目：『私の仕事=災害の調査と技術者のアウトリーチ』



工学博士・技術士でもある大浦さんは、ユニークな語り口でご自身の経歴を交えながら、学位論文のテーマとも関連するPM2.5の問題を取り上げて参加者を引き付けるとともに、PM2.5騒動については技術者として冷静に考える必要があると指摘しました。

そして、現在技術者として携わっている地すべり・崖崩れ等の斜面防災について、災害が起きる前の調査、起きた後の調査、地震などの調査に分けて事例を紹介され、被災メカニズム等について説明されました。その中で大浦さんは、技術者は災害となる現象の発生やメカニズム、対策等に興味を持つあまり、調査に夢中になることがある。その一方で何のために災害調査を行っているのか忘れてしまいそうになるが、そうならないと戒めました。

大浦さんは、技術者としての災害の調査の他に、技術士会や防災士の活動の一環として、住民の方々へ講演や図上訓練を行う等のアウトリーチを行っており、一般の方々が科学技術を信じてくれなくなっている現状があり、マスコミ、技術者、官僚、学者にも責任があると結びました。

質疑の時間には、参加者から出された土堤破壊のメカニズム等についての質問にホワイトボードを使って丁寧に説明していただくなど、大変勉強になったセミナーとなりました。



Zoom

地域からひとへ

CeMI 北海道ニューズレター Vol.24

2013年5月15日発行

編集・発行(事務局) /
NPO法人環境防災研究機構北海道



〒060-0001
札幌市中央区北1条西8丁目2-39
日宝大通ビル8F

Tel. (011)271-2663
E-Mail: north@npo-cemi.com

● 会員セミナーについて

環境や防災に関する勉強会を定期的に開催しています。

【対 象】CeMI北海道の会員と会員が推薦される方

【開催時期】4月、6月、8月、10月、12月の第2または第3金曜日

【時刻および場所】18:00~20:00 かでの2.7 9階 研修室

★平成25年度年間テーマ
「津波災害の経験と対策」

★次回は平成25年6月24日(月)の総会と併催されるCeMI北海道平成25年度講演会です。

★テーマ及び話題提供者(予定)
「北海道における津波への対応と課題(仮)」
安田 郁夫 氏(北海道建設部 建設政策局 津波防災担当課長)
「津波災害の対応の歴史(仮)」
齋藤 祥司 氏(札幌管区気象台)

